

学校教育目標【わかる授業！友だちいっぱい！今日も来てよかったと思える白子小学校】

学校通信

No. 30 令和4年3月1日（火） 鈴鹿市立白子小学校

6年生を送る会 ～校内の壁面かざりなど～

前号（学校通信 No. 29）では、送る会当日の様子を紹介しましたが、今号では校舎内を彩っています壁面飾りの紹介などをします。1～4年生が心を込めて作りました。



◆5年生の事前準備の様子



右…退場門の制作
左…招待状の作成



右…伝統の灯の引継ぎ練習
左…司会の練習





6年生を送る会後に、5年生は在校生代表として、6年生からお礼のプレゼント(雑巾)を受け取りました。これは、6年生一人ひとりがミシンで縫って作ってくれたもので、「この雑巾で学校をきれいにしてください。」というメッセージとともに贈ってもらいました。

こういった6年生の思いを全校のみんなに伝えるために、写真のように、児童昇降口前にしばらく披露してあります。

◆プログラミング(6年理科「発電と電気の利用」)職員研修会 (2月21日)

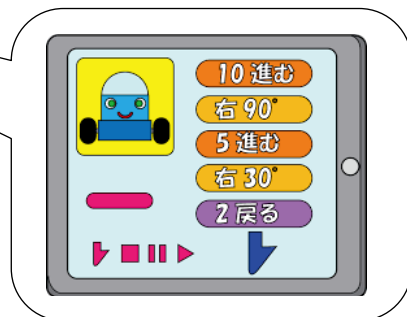
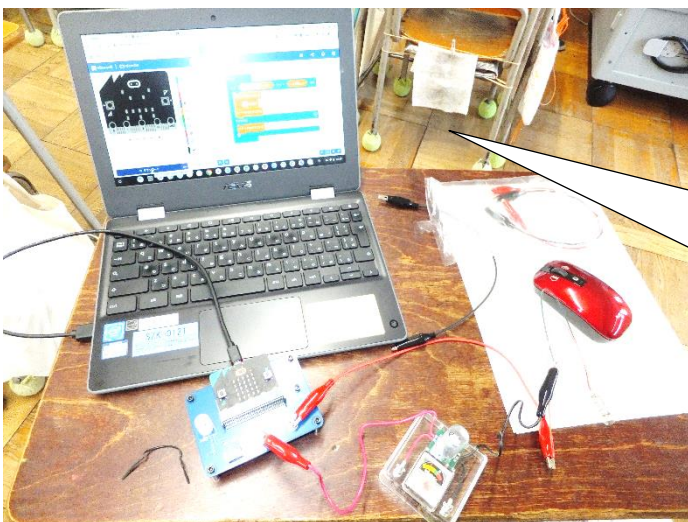


6年理科「発電と電気の利用」の単元の最後に「プログラミングを体験しよう」という学習があります。

電気を無駄なく使うために、予想した条件や動作の組み合わせをもとに、解決の方法を発想し、プログラミングをすることが目標です。

「micro:bit」という市販のプログラミング教材を使い、「人が近づいたら明かりがつく」「〇秒たったら、明かりが自動で消える」というように、人間が意図したように動かすためのプログラムを考える学習です。

写真下のパソコン画面には、プログラムの組み合わせが示されています。



こういったプログラミング体験は、現在の教科書から導入されています。この日は、ICT サポーターさんを講師として、全教員が実際に体験をし、児童への指導方法について検討をしました。「プログラミング的思考」と言われますが、目的達成に向け、どのような作業が、どのような手順で必要なのか、状況に応じた思考力が求められています。教員も、新たな学習内容に対する指導力を高めるために学ぶ必要があります。